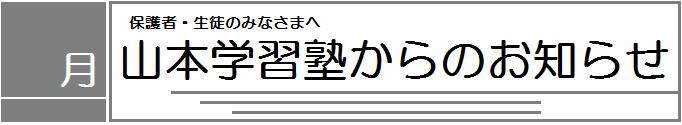
お父さん・お母さん・生徒さんへ・・・

**山本学習塾からのお知らせ**

11

R4年10月25日

**No.127**



朝晩少し肌寒くなってきて、気がつけば11月。今年もあと2ヶ月を残すのみです。受験生にとっては「勝負の時」が刻々と近づいてきています。不確定な未来の可能性をできるだけ広げ、進むべき選択肢を増やしてくれるのは、知識であり学問です。後悔しないように、するべきことを後回しにしないこと。好きなことや楽しいことばかりでなく、自分に必要なことに少しでも時間をかけて、将来の自分への投資をしていきましょう。

**★今村先生のつぶやき★**

今月は中3生、だけでなく1年、2年生も知っていてほしい、兵庫県の公立高校入試について。一般的な入試は、大きく3種類（学力検査、特色選抜、推薦入学）ですが、今回はいわゆる一般入試についての説明をします。

2023年度入試は**3月10日(金)**です。学力検査の配点は、入試の成績250点満点（5教科500点満点の半分）+内申点250点満点の計500点満点で合否が決まります。そう、テスト前に受験は半分終わっているのです。ちなみに、合否判定の資料として使われる調査書の評定は3年生の2学期までのものです。だから**中学3年は2学期期末テストまでが超重要**なのです。

次に内申点の計算方法についてです。評定の計算は主要5教科と実技4教科でそれぞれ別の計算をします。まずは5教科ですが、例えばオール3だと5教科合計3×5＝15点、これを**4倍**した点数を使いますので5点×4＝60点となります。次に4教科は、オール3だと4教科合計3×4＝12点、これを**7.5倍**した点数を使いますので12点×7.5＝90点になり、それを合計して内申点は60+90＝150点になります。実技4教科の重要性がわかりますか？5教科は4倍ですが、実技4教科は7.5倍もされます。実技教科をバカにしてはいけません。実技の評定が1上がることは、入試の点数でいえば7.5×2＝15点分上がるということです。入試の点数は半分にされるので、テストで言うと15点分、約4問多く正解した程の差となります。だから**期末テストはもちろん、授業や提出物もしっかり頑張らないといけません**。合否を左右する点になるので、自分の成績を使って内申点の計算してみてくださいね！

そして複数志願について。兵庫県では普通科や総合学科は複数志願選抜が可能で、第二志望校まで志願できるのが複数志願選抜です。このとき第一志望には自分の持ち点に30点の加点がされます。つまり第一志望校の合否判定には上記の500点満点に30点を加算した点数が用いられます。もし第一志望校が不合格の場合でも、第二志望校で500点満点の点数で合否判定してもらえます。ただし、第一志望の子との30点差はかなり大きいので、第二志望校は確実に合格を狙える学校を押さえておきたいですね。進路指導の先生とよく相談しましょう。

いかがですか？仕組みを知り、自分の持っている点を把握して、来るべき志望校決定の参考になれば幸いです。

☆11月の予定☆　　　　期末テストの準備を

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 11/3（木）文化の日：休塾  11/7（月）中2トライやるチャレンジ  11/8（火）～14（月）：塾内テスト  11/23（水）勤労感謝の日：休塾  3年生は特に人生を左右するほど重要なテストになります。これまでで一番やり切ったと思えるくらい、テスト勉強に時間をかけてみましょう。 | 11月は期末テストの時期です。2学期のしめくくりだけでなく、2022年の総まとめとして、期末テストで良い結果を残し、気持ちよく2学期を終えましょう。競走はもう始まっています。今勉強していることをその都度忘れないように覚えていけばテスト前の勉強も楽になりますよ。 | 1月末から各学校の入試が本格的にスタートしていきます。受験生は本来の実力を発揮できるように、落ち着いて問題に取り組みましょう。自分を信じ、いつも通りにやれば絶対に大丈夫です。最後まで諦めず、もうひと頑張りしましょう。そして必ず合格を掴み取ろう！ |

